

第 3 5 9 回定例県議会 一般質問

令和 4 年 9 月 3 0 日（金）

質問者 関口 ^{せきぐち} 正人 ^{まさひと} 議員（自民党）

質問内容 6 食品ロスの削減について

本県の食品ロスの削減の現状を調査・把握し、ターゲットを決め、それぞれの取組を定めた広範囲の食品ロス削減計画を早急に策定し、実行すべきと考えるが当局の所見を伺う。

答弁者 齋藤 元彦 知事

食品ロスの削減についてお答えを致します。食品ロスの発生抑制としては、家庭では食材の使いきりや食べきり、飲食店では食品ロスが出にくい提供方法など、県民・事業者の行動変容の促進が重要であることから、市や町では動画や店頭キャンペーンなどを通じ、啓発に取り組んでいるというところがございます。

県では、家庭で余っている食品の有効活用を目的に、令和 2 年度からフードドライブ運動を全県的に展開しまして、昨年度は、スーパーなどで集めた約 31 トンの食品を、福祉団体などに寄付をいたしました。また、10 月下旬に兵庫県庁 SDGs ウィークを開催しますが、本庁舎や県民局・県民センターで実施をさせていただきたいと思っております。

フードドライブの資源回収の仕組みは、家庭に眠る未利用資源の回収システムとしての活用が可能で、特に民間企業では、スポーツイベント時などに、スポーツウェアの回収とフードドライブの寄付の受け取りを同じブースで効率的に行う取組が始まっています。

県では、従来の廃棄物処理計画で対象としてきました 3R(リデュース・リユース・リサイクル)、それから廃棄物処理に加えまして、食品・プラスチック・衣服など製造段階から流通・消費までのあらゆる段階で、資源循環に配慮した総合計画である兵庫県資源循環推進計画の策定を今検討しております。製造・流通・小売事業者や市町と連携し、生産・消費・廃棄の一方通行型の社会経済から持続可能な循環型経済へのシフトを進めて参りたいと考えています。